

おうちに神さまのお神札をまつり、毎日おまいりするせいかつ



おうちまいりのススメ

不自由な生活が続き、気が滅入ってきていませんか？

これは気枯れ(けがれ)といって、心身の病にもつながります。

昔の人は神さまをまつり、祈ることで「気」をいただき、心身共に健やかに過ごしてきました。初詣や七五三、厄祓いなど、季節や人生の節目に神社でお参りしている方も多いと思います。

これを機に、氏神さまを自宅におまつりして、

日々平穏無事であることに感謝する生活を始めてみませんか。

おうちまいりのいいところ

- ◎朝と夕に神棚に手を合わせることで、**気持ちがすっきり晴れやかになり、清く明るく澄んだ心になれます**
- ◎家に神聖な場所や祈りの空間を作ることで、**清潔に、美しく過ごすことができます**



生活スタイルに合わせた神棚を探そう

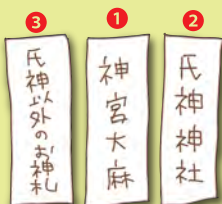


実家にあるような大きいのは嫌だし、置くのにふさわしい場所もない。壁に穴をあけるのもちよっと…と、考えるだけで大変そうですが、壁に貼るものや立てかけるものなど、**インテリアや趣味に合わせて選ぶことができます**

ご協力：長田神具店、埼玉県神社庁
日本文化興隆財団

どんなお神札をお祀りしたらいいの？

神様のお家である神棚の中に、神様であるお神札を納めておまつりします



- ① 神宮大麻 ② 氏神社のお神札
- ③ 氏神社以外のお神札 (崇敬神社)

※重ねてお祀りする場合は
①を最前面にして②、③の順に重ねてください

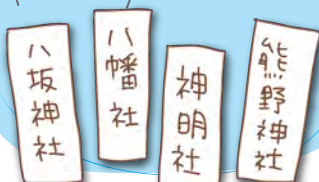
氏神さまってどんな神さま？

氏神さまとはあなたが暮らす町や地域に鎮座している神社のことです。

地域性や歴史的背景によりおまつりする神様が異なるので神社名も様々ですが、

氏神さまが鎮座している地域や町の人々にとって「最上の守り神」ということです

同じ神社でもご利益が違うんだね / 地域毎に氏神さまが違うんだね



神道の神さまってどんな神さま？

太古の昔より日本人は「四季折々の自然界のものを崇拝する気持ち」に対して神が宿っていると考え、畏敬の念をもって八百万の神の信仰が始まりました。自然界以外にも祖先や偉人も神としてその遺徳がまつられています

早速神棚を家におまつりしてみよう!

神棚は神様のお住まいです。自分のお家の中の気持ちの良い場所に素敵で特別な空間を用意してください。

1 自宅で神棚をまつ場所を決める。

リビングなど、家族が集まる明るく綺麗な部屋の高い所におまつりしましょう。理想的な方向は南向きまたは東向きですが、家の造りもあるので、こだわる必要はありません
神さまへの敬意をもって今できるカタチでおまつりしましょう



扉の前など
おちつかない
場所は避ける

目線より
上の位置で

2 神棚を選ぶ

インターネットやホームセンター・神具店などで、暮らしに合ったものをお選びください。神社でもご案内できますので、お気軽にお問合せください



4 神主さんに連絡する

家を構える時に地鎮祭をした神主さんに相談して設置するなど、若い世帯にも神棚を置いているご家庭が増えています。

氏神神社の神主にお神札をお求めの旨電話にてご連絡ください。お住まいの氏神さまのお神札をご準備いたします



はい。〇〇神社の宮司です

〇〇町内に住む〇〇と申します。初めて神棚を設置しようと思って連絡しました

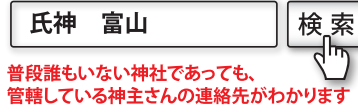


3 お住まいの町の氏神さまを調べる

スマホやパソコンで検索して調べることができます



富山県神社庁の氏神神社検索ページに移動します



普段誰もいない神社であっても、管轄している神主さんの連絡先がわかります



同じ神社名でも地域毎にお祀りしている氏神さまが異なります。そのため自分の町の氏神さまにお参りするの大切なことなのです

5 お神札をおまつりする

神社でうけたお神札を、用意した神棚に納めます
お供えをする場合は毎日交換するのが望ましいですが、難しい場合は月のはじめや、1日と15日の月2回など、無理のない範囲で構いません

神様にこっていつもきれいな状態で! という気持ちが大切です



お神札は1体1,000円程度1年毎に新しいものと交換しましょう
年末や新年が良いですよ

6 毎日おまいり

身だしなみを整えて朝夕にご挨拶しましょう。



起きたら身だしなみを整えてごあいさつ

2拝
2拍手
1拝で

